

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ケンブリッジ大学 コーパス・クリスティ・カレッジ 異文化理解プログラム
------------	-------------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	24000 円	平日は食堂がメイン、土日は外食でした。
図書費	0 円	辞書を持参するか悩みましたが荷物を減らすためアプリで済ませました。
学用品費	0 円	教科書等を購入することはありません。筆記用具を持参すれば大丈夫です。
携帯・インターネット費	6000 円	現地到着後 35 ポンドの通信無制限のプランを購入しました。
現地通学費	0 円	寮がカレッジの隣のため。
教養娯楽費	500000 円	お土産や自分の趣味、遊びなど。
被服費	90000 円	フォーマルディナー用のスーツのみ新しく購入しました。
雑費	0 円	
交通費	70000 円	例:ロンドンやオックスフォードまでの電車賃、タクシー代など。
その他	円	例:
合計	690000 円	自分は使いすぎです。通常はこの半分くらいだと思います。

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にありません。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:外貨両替店にて用意しました。 その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
出発前に日本で SIM カードを用意しましたが現地到着後差し替えても機能しませんでした。そのため現地で新しいものを探さなければならぬことに。現地で通信手段を確保したい場合は、カレッジ近くのスーパー(歩いて数分で行けます)で SIM カードを購入し(自分が購入したものは giffgaff という会社のものでした)、オンライン上でプランを選択しカード払いをすることで利用可能になります。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
カード(VISA がオススメです)は予備を含め 2 枚用意しておくことを推奨します。また至る所に ATM がありますが全て引き出ししか利用できませんでした。預金は多く確保しておいた方が安心です。街中のお店はどこもカード払いが当たり前で現金を受け付けてくれるお店の方が珍しかったです。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
レストランでトイレに行く際などは荷物を手放さないようにしました。また、ケンブリッジもロンドンもホームレスの方がとても多いです。何度も小銭を要求され胸が痛みました。夜 22、23 時頃からはパブ前に酔っぱらった騒がしい人々が増えるのでその点も気をつけました。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮の wi-fi はインターネット速度テストをしたところ 51Mbps でした。場所によって繋がりがやすさは変わりますが、不満はありませんでした。通信会社は大手企業を選択することをオススメします。大手通信企業はショッピングモールなどに店舗を展開しているので、もし何か困った時には助けを求めることができます。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮	<input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>部屋の広さは個人差があります。ドアはオートロックのため鍵を置き忘れないようにしましょう。閉め出されてしまった場合はポーターという職員の方に開けてもらえます。クリーニングは毎週月曜日の昼頃行われ、シーツ、タオルの取り換え、トイレトイレットペーパーの補充、ゴミの回収が行われます。洗濯機、乾燥機が共用で利用できますが洗剤は各自用意する必要があります。自分は現地のスーパーでクラスメイトと割り勘で購入しました。シャワーの水圧は弱く、トイレは時々流れにくいですが、慣れます。食堂の料理はほとんどが美味しかったです。</p>	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
サイエンスの授業がオススメです。プログラムに参加している人の多くが文系でサイエンスは苦手だからと選んでいない人が多かったですが、ペットボトルロケットの実験や他のカレッジのサイエンスフェスに参加したり、博物館へ行ったりとキャンパス外での授業がメインで、高校時代サイエンスが苦手だった自分でも楽しめました。最後には謎解きクイズがあり景品がもらえました。	
課外プログラムについて	
平日の空き時間や授業後の夕方には PA の募集により、サッカーやゴルフ、バンティング、アフタヌーンティー、他のカレッジや博物館へのツアーが行われました。自分はどれも積極的に参加したおかげで PA と仲良くなれました。自由参加のため、課題に取り組むこと、個人でケンブリッジを散策することも可能です。	
滞在先・現地での生活に関すること	
街中のゴミ箱の数はかなり多いですが多くの人ポイ捨てしているためゴミ、臭いは悲惨です。信号の青の時間が短く、自転車や電動スクーターの利用者が多いため事故にあわないよう注意を払っていました。基本的に現地の人は優しい人ばかりだったので困った時にはすぐに聞くことが一番だと感じました。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

コロナ禍の影響で高校時代に留学ができなかったため、大学入学後すぐに留学することに。ケンブリッジ大学が由緒ある大学であることが大きなポイントでした。現地の学生、教授は皆さんとても優しく、困っていることがあればすぐに助けてくれます。しかし、このプログラムを最大限に活用するためにはある程度の日常会話ができなければならないかと思います。というのもケンブリッジ大学の方々は会話がスムーズにできるよう助けてくれますが、カレッジの一步出ればそんな配慮をしてもらえません。現地の人々と積極的に会話し、伝えたいことがしっかりと伝わればとても嬉しいですし自信がつきます。自分の場合はもともとスムーズに話せるようになりたいというモチベーションアップに繋がりました。そしてアメリカ英語とイギリス英語の違いを生で実感できます。また留学では文化、生活の違いという点が特に強調され、学生の多くの方は頻りにネットや学校の授業で耳にするため、そんなのわかっているよ、と思っている方がある程度いるのではないかと思います。自分もその一人でした。しかし実際に現地で生活をすると予想以上にかなり多くの違いを実感できます。失敗は後の成功のための大きな要因になります。今後参加する後輩学生の方々が失敗を恐れず挑戦し素晴らしい経験ができることを祈っています。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ケンブリッジ大学コーパスクリスティカレッジ 2022 年夏季
------------	--------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	およそ 40000 円	土日の昼夜、また平日も時々食べに出掛けていた。
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	Sim のプラン次第。
現地通学費	0 円	(大学まで 1分)寮がカレッジのすぐ近くだった。
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	80000 円	お土産代やサッカー観戦の際のチケット代など。
その他	20000 円	例: 休日、外で外泊した際のホテル代。
その他	30000 円	例: 休日の外出のための交通費など。
合計	175000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
事務室が行ってくれたので特になかった。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港の外貨両替窓口にて前日に両替した。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
Sim は日本で事前に郵送にて頼み、現地に持っていった。現地で WiFi のある環境で sim を差し替え、プランを選択した。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
現地ではカードでの支払いが主流だったため、それほど多くの現金を持っていく必要はなかった。しかし友人などと一緒に食事をする際に割り勘ができず、カードで一括に支払うこともあり、その際に現金を自分の分だけ渡すこともでき、あれば便利でもあった。白米を持っていったらよかった。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
スリなどの犯罪が日本に比べて多いと聞いていたので、高価なバッグや財布などは持っていかなかった。また、携帯や財布を裸で持つことは避けて、常にポーチなどに入れることを心がけていた。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
Sim を変えていたので不便に感じることは全くなかった。

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
自室に関して不便に感じることはほとんどなかった。イギリスは例年の気候上エアコンがないので、暑い日はかなり室内に熱気がこもったが、夜になると気温も下がるので、そこまで問題には感じなかった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
Science の授業が面白かった。他の授業に比べて、実験や他のカレッジへの訪問など、課外授業が多く新鮮だった。また知らない内容であっても先生が 1 からしっかり分かりやすく説明してくれるので置いていかれる心配もなく、伸び伸びと学ぶことができ、非常に有意義だった。
課外プログラムについて
Science で、夕食後に集まり、星の観測にいったことが一番印象に残っている。周りが林に覆われていたので余計な光がなく、星の観測が捗った。また先生が星の説明を同時に行ってくれるので、興味深かった。
滞在先・現地での生活に関すること
食事に関して、イギリスのご飯に対して多少の不安があったものの、それほど困らなかった。フィッシュアンドチップスをはじめ、ご飯は普通に美味しかった。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

自分が参加したプログラムは、期間が約1ヶ月と短期留学の部類でした。私は留学期間中、とにかく現地の学生と積極的に会話したり、また街を散歩したり、無駄な時間を作らないように意識しました。そのおかげでたくさんの思い出もでき、また自ら振り返っても有意義な時間であったと胸を張って言えるような留学になりました。英語に関しては、学力的な面で急進的な成長ができたとは言えないかもしれませんが、英語を話すことに躊躇しなくなり、また speaking のスキルは向上し、総合的な英語力は高まりました。留学に行くことを目的にせず、その先で何をしたいのか、何を得たいのか行く前によく考えることが大切だと思います。頑張ってください。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ケンブリッジ大学コーパスクリスティ・カレッジ 2022 年夏季
------------	---------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	25,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5,000 円	
現地通学費	0 円	(大学まで 0 分)
教養娯楽費	10,000 円	
被服費	10,000 円	
雑費	20,000 円	
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	70,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 渡航前に空港などのカウンターで換金しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
ヒースロー空港内に SIM 専用カウンターがあったのでそこで購入しました。カウンターで行くと、SIM のセッティングまで無料で行ってくれるのですぐに使うことができました。Wi-Fi は学内に設置されているものを使用しました。eduroam という Wi-Fi は登録している全世界の大学で使うことができるので登録の手間が省けて便利でした。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
海外対応のヘアアイロンやドライヤー。着いてすぐに調達できるとは限らないので持って行っておくと安心だと思います。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
チャックのついた、小さなポシェットにスマホなどの貴重品を入れて肌身離さず持ち歩くようにしました。週末にロンドンなどに出かける時は小さめなリュックにして、電車やバスなど混雑した場所では前に持って歩くようにしていました。盗難等に巻き込まれたことはありませんでした。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

地下鉄内や施設内で圏外になることがしばしばありました。ですが、電車の中や寮、学内、カフェは基本的に Wi-Fi が設置されているのでそれらを利用するようにしていました。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮	<input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
バス・トイレ付きの1人部屋だったのでのびのびと過ごすことができました。 個室か相部屋かどうかなどによって準備するものも変わってくると思うので、滞在先の情報はかなり細かいところまで情報収集することをお勧めします。(清掃の頻度、リネンの有無など)	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
Images of Japan という、英語の視点から日本文学を考えてみるという授業がとくに面白いと感じました。 コースの最後には実際の日本文学の一部を用いて英訳をするという課題がありました。翻訳の難しさを体感するとともに、日本語の特徴をあらためて学ぶことができる授業でした。	
課外プログラムについて	
課外活動では、現地学生の PA(Project Assistant)が色々なイベントを企画してくれました。ケンブリッジ大学はカレッジ制の大学なので、自分が滞在している所とは別のカレッジに案内してくれたり、川下りを体験したりすることができました。	
滞在先・現地での生活に関すること	
コロナ禍の留学だったため、毎朝抗原検査の結果を提出する必要がありました。 現地の人ほとんどマスクをしていないので、そこは日本との大きな違いかなと思いました。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>〈留学を選んだ理由〉 前年度に法学部主催の Law & Society というオンライン留学プログラムに参加していたことが理由の一つです。オンライン留学では何処か物足りなさを感じ、現地派遣型のこのプログラムへの参加を決めました。</p> <p>〈留学生活〉 現地での生活は想像以上に充実したものとなりました。その理由としては、自ら積極的にコミュニケーションをとるように心がけたことが挙げられると思っています。授業外時間(食事、自由時間)でも PA とおしゃべりしたり出かけたりすることで自然と英語を話す機会を増やすように心がけていました。</p> <p>〈アドバイス〉 留学に行くまでに資金面、語学力等を懸念する方もいるかと思いますが、留学で得た経験は自分でしか手に入れることができない、とても貴重なものだと思います。色々な心配はあるかと思いますが、思い切って挑戦してみることをおすすめします。</p>
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ケンブリッジ大学コーパスクリスティ・カレッジ 2022 年夏季
------------	---------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35,000 円	
図書費	4,963 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	0 円	(大学まで 0 分)
教養娯楽費	円	
被服費	26,243 円	
雑費	172,459 円	
その他	0 円	例:
その他	0 円	例:
合計	238665 円	

渡航準備について
1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:羽田で両替 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
大学側から勧められていた giffgaff を事前に登録し、購入。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
助かったもの)ハンガー、洗剤 準備したほうが良かったもの)米、味噌汁

現地情報
1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:親と現地のリーダー) 特記事項:クレジットカードの限度額が来てしまい使えなくなりました。イギリスはキャッシュレス社会のため、現金だけでは生活ができない。親が日本からクレジットカードを郵送してくれた。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
インターネットで調べた。 実際には何も起こらなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)
寮 wifi は安定していたため、不自由なく暮らせた

滞在形態関連
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
オートロックのため、鍵を常に持ち歩くことを忘れないことを気をつける。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
Image of Japan 先生がとても明るく、中身もとても充実していた。
課外プログラムについて
特になし
滞在先・現地での生活に関すること
最初の2週間くらいは熱波の影響でとても暑い日が続いたが、後半の2週間は逆に寒く、長袖で過ごしていた。また、朝と夜は気温が低く、寒暖差が激しい。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留學生活全般について、留學を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>私は英語力の向上はもちろんのこと、英語を使って何かを学びたいと思ったことに加え、まだ行ったことのないイギリスという国の文化を知りたいという気持ちもあり、この研修を選びました。最後の事前研修がコロナのせいで zoom になってしまったこともあり、旅立つ時はとても不安でした。しかし、いざ到着してみると、皆さんとても良い人で楽しむことができました。現地の学生や先生方はとても暖かく迎え入れてくれ、優しく、相談にいつでも乗ってくれました。留學を終えた今でも現地の皆さんと連絡を取るくらい仲良くなることができました。生活面では、円安だったこともあり、とにかく物価が高いことに苦労しました。特に、休日遊びに行く時の交通費が高かったです。そのほかは不自由なく過ごせました。</p> <p>このプログラムに参加したことで、とても充実した最高の夏休みを送ることができました。</p> <p>参加して損したと思ったことは一度もありません！</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ケンブリッジ大学コーパスクリスティ・カレッジ 2022 年夏季
------------	---------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	84,000 円	
図書費	1,000 円	
学用品費	2,000 円	
携帯・インターネット費	3,200 円	
現地通学費	0 円	(大学まで1分)
教養娯楽費	110,000 円	ロンドンに1泊、セブンシスターズ・ブライトンに1泊、パース、ブリストルに1泊した。主に交通費宿泊費
被服費	7,000 円	
雑費	44,000 円	お土産代
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	251,200 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 外貨配達、トラベックスオンライン(2万円分) その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード *クレジットカード必須です
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
giffgaff の公式サイトから、sim カードを注文。 出国直前にプランの申し込み(20 ポンド/100GB)
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ネックピロー、ノイズキャンセリングイヤホン、サンダル(機内・寮内の移動時)、運動靴、変換アダプタ、タコ足配線、白米と味噌汁、割り箸

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 交通機関のストライキ Twitter による情報収集と、現地の先生への相談により解決) 特記事項: なし
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
そこまで治安が悪くなかった。防犯対策に関しては、ケツポケットに物を入れず、スマホを肌身離さず持っていた。犯罪には巻き込まれなかった。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本的には学校内、寮内では Wi-Fi を快適に利用することができた。
giffgaff は旅行先でとことこ繋がりにくいこと(3G になる等)はあったが、特に問題はなかった。
地下鉄は電波が繋がらない。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可 ただし食堂で学食がある為自炊の必要なし)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
日本には出来ない経験が出来るようになった。ケンブリッジは歴史的な建物が多く、非常に美しい街だった。そこから古いものを大切にするというイギリス人の価値観を感じた。現地の PA と先生方は気さくでとても優しく、授業の際も放課後も非常に助けられた。酒を飲むと現地人と仲良くなれるので是非パブに行って欲しい。土日に滞在するホテル代をケチり過ぎると、臭いが気になる等で寝れなくなるためご注意ください。Premier Inn というホテルが日本で言うアパホテルみたいところで、かなりコストパフォーマンスが高かったのでオススメ。お水はまとめ買いをした方がいい。(500ml×12 本等)交通費が高いものの、団体料金を使えば半額程になるので是非活用して欲しい。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容
[Academic English] 先生とのディスカッションを通して授業が進むため、常に意見を持っていてそれを英語でいつでもアウトプットすることが求められる。論理的な思考法、学術論文に関する文章構成、効果的なプレゼン方法など、英語を学ぶ以上に得るものがあった。
[Art & architecture] ケンブリッジの街が大学と共にどのように発展していったのか、歴史を知りながら建築、絵画、彫刻についての知識を深める事ができる。この授業を受けてからロンドンの街並みや博物館を見ると全く見え方が変わる。
課外プログラムについて
フォーマルディナーやサッカー、卓球、ビリヤード等のスポーツを通して、Law コースの生徒や現地の先生、PA と仲良くなれた。Art & Architecture の授業を通して、ロマネスク、ゴシック様式の建築から近代建築まで、ケンブリッジ大学のキャンパスを見ることを通じて学べた。
滞在先・現地での生活に関すること
寮からきキャンパスまでとても近い(徒歩 1 分)。学食のご飯が美味しい。円安の影響もあり物価が高い。寮に湯船はない。ホームレスが日本の住宅街に比べ多いものの危険を感じることはなかった。日が長く 21 時くらいまで明るい。ロンドン、ブリストル、セブンシスターズ、バースなど行ってよかったと思える観光地に行ける。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>このプログラムを選んだ理由は 3 つあります。1 つ目は、テーマ特化型研修の為、単に英語力を上げることを目的とした語学研修ではなく、英語を手段として運用しながら異文化理解を深められるからです。2 つ目は、イギリス英語に興味があったからです。ジョンソン元首相の演説を聞いた際にアメリカ英語とのアクセントの違いについて衝撃を受け、それまで聞き慣れていたアメリカ英語ではなく、本場のイギリス英語を学び更に違いについて知りたいと思ったからです。3 つ目は、世界トップレベルの大学であるケンブリッジ大学で学べる経験が貴重であると感じたからです。現地で仲良くなった PA や先生方は今でも連絡を取り合っており、貴重な財産となっています。</p> <p>留学を通して日本に居ては出来ない経験が出来ます。留学はアウトプットとの宝庫です。現地の PA や先生方と関わる機会、パブで偶然知り合ったイギリス人と話す機会、日本では見られないような絶景を見る機会、文化や価値観の違いに直面する機会、自分の中で伝いたい事があるのに上手く伝えられずもどかしい気持ちになる機会、全てが自分の財産であり、自分自身を成長させてくれました。これらの経験は日本ではなかなかできない事です。留学先でのアウトプットの効果を最大にする為にも、今のうちに出来るだけインプットの量を増やしてください。それがきっと、留学を更に豊かなものにするでしょう。偶然の出会いを大事にして、全身で留学先の国を体感してきて下さい。応援しています。</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ケンブリッジ大学 コーパス・クリスティ・カレッジ 異文化理解プログラム
------------	-------------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20,000 円	
図書費	0 円	
学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	3,000 円	
現地通学費	0 円	(大学まで 1分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	15,000 円	土産など
その他	円	例:
その他	円	例:
合計	38,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
なし
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現金(渋谷駅にて換金)、キャッシュパスポート その他用意したもの: <input type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
SIM は giffgaff で調達、日本でセットアップするときなかなかクレジットカードが認証されず不安だったが、当日朝羽田空港にてようやく(ギリギリ)うまくいった。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
水筒。食堂のピッチャー、図書館・講義室のウォーターサーバー、自室に買い置いた五リットルの水ボトルなど補充できる機会が多く、多くの小分けにして持ち歩きたい場面に有用だった。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: a programme director) 特記事項: 初週の週末に発熱、コロナではなかったが対応してもらった。
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
少し話題がずれるかもしれないが、滞在中の週末交通機関のストライキが問題となる場面があった。事前に programme director をはじめとしたプログラムのアシスタントチームが情報を流してくれ、対応できた人も多かった(自分は乗っていた電車が途中で止まった)。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

良好だった。寮のインターネットは時たま遅かったが、SIM がうまく働いてくれた。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮	<input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
ご飯は食べたほうがいいです。プログラムとして他の日本語話者と滞在するのなら、その人たちと友達になったほうがいいです。週末何も食べずに部屋で冬眠する生活になる可能性があります。せっかく別の土地にいるのですから、いろいろなところを見て回って、いろいろなお飯を食べたほうが良いと考えています。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください
留学先での学習で良かった授業名や内容
Japanese Interpretation (Images of Japan): 日本文学と翻訳について学んだ。興味深く、翻訳の課題もクリエイティブさが求められた。次年度以降開設されるかわからないが、翻訳によって失われるもの・新たに付加していく価値や翻訳文学としての可能性について考える非常に良い機会となった。
課外プログラムについて
特に参加していない。
滞在先・現地での生活に関すること
週末はどこかに出かけられたら良い。私を除く多くの人が週末いろいろな場所へ出かけていた。イギリスはやるうと思えば二日で割とどこでも行けるため、イギリスのいろいろなところを見て回ってみたいという人にはよいスケジュールだったと言えるだろう。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

日本とイギリスは多くの点で似通っていると感じる。それが、僕のケンブリッジでの一か月弱を経た直後の感想だった。たとえば、すれ違うたびに「Sorry」と言ってしまう文化がある。これはどちらもところせき島国ゆえに存在するのかもしれない。しかし、類似性を意識するということは、他の多くの点で異なっているということであるはずだ。この相違を説明しつくすことは到底かなわないが、向こうでの生活を思い出しながら、いくつか手に取ってもう一度眺めなおしてみようと思う。

この異文化体験を修飾するのに、カルチャー・ショックという言葉はもはや似合わないだろう。Japanese Interpretation の初回ディスカッショングループの時間に一各講義のフォローアップやアイスブレイクを目的としたディスカッションの時間が朝に設けられていたのだ一、アシスタントのアンは僕たちにイギリスと日本の相違点を問うた。僕は何を挙げたものか迷ってしまい、見渡すと他の参加者も同じくそのようであった。それもそのはず、僕たちにとってケンブリッジという町、また人々、そしてプログラムでの経験すべてが新しいものであり、すべてが違いすぎて個々の差異に着目できなかったのである。異文化に驚かされるのではなく、異文化に包摂されていた。それはもはや戸惑いに近い、それでいて興奮さえ覚えるような体験だったと言えるのかもしれない。

他者とのつながりがその人を強くする。つながりは、コミュニケーションによってなされていくものだろう。今回のプログラムを手助けしてくれたアシスタントたち、そして統括してくれた programme director、僕は幸運にも、すべての人と交流を深めることができた。ケンブリッジでの一か月弱、僕は彼らから多くのものをもらったと思う。自信、むしろ自分が自分であることへの不安の払拭。大学院・海外大学への興味。授業後のフィードバックにて長期の留学を多くの先生たちが勧めてくれたこと。今後もこのつながりが、何らかの場面で生きてくれるといいな、と思いながら帰路に着く。

もしこれからの留学を考えている人がいるのなら、僕もその一人であることを言わなければならない。今回得た最も重要な知見は、コミュニケーションを恐れず、相手と対峙するそのときに流れる空気を目いっぱい吸い込んで、初めの言葉を発することだろう。そのときに湧き上がってくる不安を泥濘に沈め、一步を踏み出してみる。その先に大きなアチーブメントがあると信じて。そのとき自分を包摂する相違に、きつとうつくしさがありますように。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ケンブリッジ大学コーパスクリスティ・カレッジ 2022 年夏季
-----	---------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	35,000 円	土日の朝ご飯は学内のカフェテリアを利用
図書費	1200 円	参考書の購入
学用品費	1500 円	クリアファイルやノートを購入
携帯・インターネット費	3200 円	Giffgaff の 80GB を利用
現地通学費	0 円	大学まで歩いて 5 分
教養娯楽費	70,000 円	現地のミュージカルなど様々な公演を観覧
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	20,000 円	例：電車の交通費が高い
その他	0 円	例：
合計	130,900 円	

渡航準備について

1)ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特になかった
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現金は池袋にある三菱銀行で両替した。英国は現金を使える店がとても少ないためクレジットカードでも構わない。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
私は giffgaff という会社の SIM カードを使った。出発前に日本の家まで SIM カードを送ってもらって飛行機の中で入れ替えた。Giffgaff はアプリからどれだけ使っているのかなども確認できるし、登録しておいたクレカで支払えてとても便利だった。他に WIFI を借りてきた学生たちも多かったが、私は SIM カードの方をおすすめしたい。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
クリアファイルとノートは必ず持っていた方がよい。様々な授業の内容をまとめる時とレジュメをもらう時に科目ごとに分けておくととても便利だからである。 そしてクレカは2枚以上持ってきた方がよい。たまにデビットカードでは支払えない店があるのでクレカとデビットカードの両方を持つてくることをおすすめする。

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

私は大丈夫だったが、小さいハンドバックを持つてくる必要はあると感じた。私は大きいエコバッグしか持つてなくて毎回外に出る度に不安だった。そしてパスポートなどは寮に置いたキャリーケースの中に入れて安全なところに保管した。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

スマホのSIMカードに問題もなかったし、寮のWiFiも大丈夫だった。学内のWiFiも良かったのでインターネットを使うことに問題はなかった。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

学生寮 ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

個室で共有できるキッチンもあったが、私は共有スペースがないことが残念だった。一日頑張っただけで今日はどんなことがあったか寮の友達とお話ができるスペースがなかったので学内のカフェテリアでしか話ができなかった。

個室は思ったより広いし週に一回掃除してくれる方がいて便利だった。隣の部屋の音は聞こえなかったが、廊下の音はよく聞こえた。コインランドリーと乾燥機は地下にあるが5台しかないのでタイミングが悪かったら人が混んで使えないこともしばしばあった。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容

Image of Japan という授業があつて日本語で書かれた本を英語で翻訳するとどうなるかを勉強する授業だった。最初はどの翻訳すれば良いかよく分からなくて大変だったが、先生と同じチームのみんなと頑張った記憶がある。翻訳は単純に言語を変えるのではなく、そのために本の作者や書かれた時代的背景なども調査する必要があると学ぶことができた。

課外プログラムについて

留学先の学生と一緒に punting したことがある。ケンブリッジ大学の様々なカレッジの話聞いて日本ではできない体験ができてとても良かった。皆と映画を見ることや博物館に行って古代の色々な作品を見て楽しかった。勉強すること以外にも課外プログラムを通じて勉強できたことも多いと感じる。

滞在先・現地での生活に関すること

ケンブリッジはとても狭いので一週間で地図なしでどこでも行けるほどだった。すごい建物と美味しい店がたくさんあって住みやすいところだと思った。町が狭いから初めてきた場所だが、生活に慣れるまでそんなに時間はかからなかった。日本の寿司やうどんの店も多かったので友達とよく行った。

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私が今回ケンブリッジ大学のプログラムに参加した理由は将来海外の大学院で勉強してみたいと考えたからである。そのために自分の英語の実力で授業を聞いて生活ができるか試してみたいと思った。実際今回のプログラムで勉強ができないと判断したら日本国内の大学院に進学するつもりだったので今回のプログラムは私にとって意味のあるチャレンジだった。初めは英語で話すのが恥ずかしくて真面にできなかったが、自分がなぜここに来たか目標を思い出して積極的にプログラムに参加した。その結果、このプログラムが終わった後私の英語の実力は上昇し、将来英語圏の大学院に挑戦したいという確信ができた。これからこのプログラムに参加する予定の皆には是非自分がこのプログラムに参加しようとする理由と目標を立ててそれをいつも思いながら生活してほしい。英語で毎日生活して学校でも英語で勉強するのは大変だが、このような経験を通じてもっと成長した自分になれると思う。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ケンブリッジ大学コーパスクリスティ・カレッジ 2022 年夏季
------------	---------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	70000 円	平日は 3 食、食堂で無料で食べることができました。レストランやコンビニは日本より高めです。水代が結構かかりました。カフェが好きなので、たくさんいった結果、7 万円くらいになりました。
図書費	0 円	教科書等は特にありませんでした。
学用品費	0 円	授業に必要なものは買えました。
携帯・インターネット費	20000 円	携帯がそのまま使えるように、au の世界定額データを利用しました。
現地通学費	0 円	(大学まで 0 分) 大学内の寮だったので、通学費はかかりませんでした。
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	日本から持って行った服で足りました。
雑費	80000 円	お土産や、PCR 検査代
交通費	50000 円	週末は旅行に行っていたので、交通費が沢山かかりました。
宿泊費	30000 円	旅行の際に何度かホテルに泊まりました。
合計	250000 円	

渡航準備について

1) ビザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
特にないです。
2) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 出発日に空港で、3 万円分用意しました。 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
携帯は SIM を変えず、そのまま使えるように au の世界定額データを利用しました。SIM の方が安いと思いますが、私は利便性を重視しました。WiFi は大学、寮ともにあったので、特に困ることはありませんでした。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
助かったもの→お味噌汁、ティッシュ、ウエットティッシュ、日傘 準備したほうがよかったもの→もう少し大きめの洗濯ネット、カトラリー、水筒、生理痛の薬

現地情報

1) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
特に情報収集はしませんでした。ただスリが多いと聞いていたので、荷物を前に持ったり、携帯を首からかけたりと対策はしました。実際に盗難に等犯罪に巻き込まれることはなく、治安が良いと感じました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
 たまに電波が届かなくなることはありましたが、特に問題はありませんでした。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)
3)共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>部屋は広く、虫も出ずとても快適に過ごすことが出来ました。シャワーに関してだけ、洗面所がびしょ濡れになってしまうことと、温度調整が難しく、少し困りました。また、週に一回掃除が入り、タオル等も取り替えてくださるので、バスタオルをたくさん持って行く必要は無いと思いました。地下にコインランドリーがあるので、無料で利用できます。(洗剤等はないので、現地で購入 or 日本から持って行く必要があります。)</p> <p>共同キッチンには冷蔵庫、IH などが備え付けられています。自炊をする機会は特にありませんでしたが、しようと思えばできる環境だと思います。</p> <p>寮には同じコースの仲間しかいなかった為、とても仲良くなることができました！</p> <p>みんなと同じ場所に帰れる幸せを感じられると思います。</p>

プログラム選択の参考となる点を記載してください

留学先での学習で良かった授業名や内容
<p>Art&Architecture:ケンブリッジには歴史的建築物が多くあるため、街を歩きながら授業で学んだことを何度も思い出しました。建築物を見に trip に行く機会もあるので楽しめると思います。</p> <p>Science:理系でなく、理科が苦手な私でも楽しめました。様々な博物館に行く機会があります。また、夜に天文台へ星を観に行く機会もあり、とても充実していました。</p>
課外プログラムについて
特にありませんでしたが、PA の方々が様々な行事を企画して、参加者を募り、いろんな場所へ連れて行ってくれたり、遊んでくれたりしました。
滞在先・現地での生活に関すること
<p>私や周りの友人は水道水は飲まず、毎日水を購入していました。歯磨きの時は流石に水道水を使用していたのですが、私はほぼ全滞在期間中、お腹を壊していたので、お腹が弱い人は気をつけた方が良いと思います。</p> <p>寮でご飯は 3 食ともバイキング形式でした。美味しいものも、美味しくないものもありますが、何も食べられないことはないと思います。</p> <p>部屋の鍵はインロックに気をつけてください。</p>

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

<p>私がケンブリッジ大学を選んだ理由は、世界を代表する名門大学で、歴史を感じられる街並みに魅力を感じたからです。また、卒業前にイギリスで自分の知見を広げたく、留学することを決めました。コロナ禍ではありましたが、毎日 pct 検査をしていた為、安心して過ごすことができました。ケンブリッジは治安が良く、歴史を感じられる街並みで、毎日お散歩するのが楽しかったです。</p> <p>大学での講義は、先生方がとても優しく、楽しく教えてくださったので、私も受けていてとても楽しかったです。授業は課題もありましたが、同じ授業をとっている仲間と一緒に考えることも、いつの間にか楽しみの 1 つになっていくと思います(^^) また、PA の学生さん達もとても協力的で、授業で分からなかったことを説明してくれて、助かりました。PA さんは授業外でも遊んでくださり、英語力の向上に繋がったと思います。アドバイスとしては、積極性が求められると思います。英語が分からなくても、とにかく伝えようとする心が大事だと思います。</p> <p>同じジェネラルコースの仲間は、事前研修であり仲良くなれず不安でしたが、同じ寮で過ごすなかで、すぐに打ち解けることが出来ました。週末と一緒に旅行に行ったことも良い思い出です。なので、1 人で応募する学生の方も安心して参加できると思います！帰国後も続く関係を築けること間違いなしです！</p>

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

(この報告書は、閲覧資料としてホームページに公開されます。また、学内発行の留学関連冊子や、ホームページに情報が掲載されることもありますので、ご了承下さい。なお、資料公開の際は匿名で公開します。)

研修名	ケンブリッジ大学 コーパス・クリスティカレッジ 異文化理解プログラム
------------	------------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	寮で出る食費(3食)以外
図書費	2,000 円	本屋で買った本
学用品費	1,000 円	
携帯・インターネット費	10,000 円	WiFi 未接続時のみ
現地通学費	0 円	(大学まで 0 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	30,000 円	
雑費	50,000 円	
その他	150,000 円	例:週末の観光代
その他	円	例:
合計	293,000 円	

渡航準備について

1)ピザ等の申込み等で特記すること(困ったこと)はありますか
学校側が行ってくださったため、特になし。
2)現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:羽田空港で2万程度換金 その他用意したもの: <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input checked="" type="checkbox"/> デビットカード
3)現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)はどのように準備しましたか
WiFi は大学、寮、お店にあるものを使用。WiFi がない場所では、自分の通信会社の海外プランを利用。少々高いものの、SIM カードを利用している人より接続が良かった。
4)日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
インスタント味噌汁、長袖、食器類、風邪薬、日本のお菓子

現地情報

1)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: 明治大学の友人、渡航先の先生) 特記事項:
2)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事前学習で情報収集。基本的に荷物は手放さない、現金は持ち歩かなかった。犯罪には巻き込まれていない。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で

使用できない時はカフェに行った。)

寮の WIFI がたまに不安定になったが、問題はない。学外のお店も WIFI がつながるので気にならなかった。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 人)	
3)共有部分	
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人へのためのアドバイス)	
部屋をきれいに保っておくと帰国時の準備がすぐに終わるため慌てなくて済む。また、夜中に起きている際はほかの学生に迷惑をかけないようにする。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
留学先での学習で良かった授業名や内容	
すべて良かったですが、特に興味深かった授業は Image of Japan だ。文学を通して日本について海外の視点で見ることができた。私たちの思う日本とイギリスでの日本のイメージの違いに触れることができた。	
課外プログラムについて	
滞在先・現地での生活に関すること	
個人的に日本と特に変わりがなかったように感じた。ケンブリッジの街自体がとても過ごしやすい。キャッシュレスが進んでいたため、現金は持たなくて大丈夫。一方、飲料水の味やシャワーが使いづらい点は少し不快に感じた。街は治安が良く、現地の人も優しくかった。	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

世界でトップレベルの大学の授業を受けられるという点に惹かれたため応募した。語学力をあげたい且つ大学生生活をこのままで終わらせたくなかったということも理由だ。治安もよく、現地の人もフレンドリーで初めて留学する人や海外に行く人などにはとてもいい場所だと考える。日本の大学と異なり、大学を中心とした街になっているため本屋にはたくさんの本が置いてあり、いたるところにケンブリッジの歴史を感じることができる。寮生活を過ごすため自分の時間を思う存分使うことができる点も魅力的だった。留学に行く前には英語をもっと勉強しておけばよかったと感じる。Speaking や listening はできる限り日本でも練習しておくことより英語力が伸びるだろう。また、日本の歴史も頭に入れておくことと授業が理解しやすいと感じた。1か月だけであったがこの環境、大学での学びは大きいと感じた。